

演習問題

1 下記の症例について、届出対象か届出対象外か適切なものに○を記入してください。

① 自施設で高血圧の治療中に他施設で胃癌と診断され、胃癌の治療はすべて他施設で行われている症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

② 自施設で癌の疑い。確定診断には至っていない症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

③ 他施設で診断された癌について、自施設では、その癌の術後リハビリのみ行っている症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

④ 自施設では癌以外で診療をしている。癌については他施設から処方を受けており、他施設処方の抗がん剤について、自施設で服薬管理のみ行っている症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

⑤ 救急搬送され、そのまま死亡。死亡診断書に癌と記載したが、受診歴は全くない症例。

ア. 届出対象

イ. 届出対象外

2 次の症例について「診断施設」、「治療施設」、「診断根拠」、「発見経緯」に該当するコードを記入してください。コードは別紙の全国がん登録届出マニュアル（抜粋）から選択してください。

- ① 自施設で糖尿病の治療中、腫瘍マーカーCA125、CA19-9高値。造影CT画像により膵臓癌と診断。肝転移あり。高齢のため経過観察のみ行っている症例。

診断施設

治療施設

診断根拠

発見経緯

- ② がん検診で細胞診を行い、精密検査が必要となった。自施設を受診し、超音波と組織診を行った結果、子宮頸部扁平上皮癌と診断。その後は来院していない症例。

診断施設

治療施設

診断根拠

発見経緯

- ③ 下血を訴え他施設を受診し、腹部CT検査と大腸内視鏡にて生検の結果、結腸癌と診断され手術。その後は、当初の治療計画により自施設にて経過観察を行っている症例。

診断施設

治療施設

診断根拠

発見経緯

3 次の症例について「進展度・治療前」、「進展度・術後病理学的」に該当するコードを記入してください。コードは別紙の全国がん登録届出マニュアル（抜粋）から選択してください。

- ① 他施設にて胃癌疑いにより、精密検査のため自施設に紹介され、腹部CTと内視鏡下生検を行い、胃癌・肝転移と診断。外科的治療は適応外のため実施しなかった。

進展度・治療前

進展度・術後病理学的

- ② 自施設にて慢性骨髄性白血病の診断。化学療法を行った。

進展度・治療前

進展度・術後病理学的

- ③ 乳房に径0.3cmの腫瘍。周囲への浸潤なし、転移なし、内分泌療法を施行。

進展度・治療前

進展度・術後病理学的

総合問題

- 症例 65才 男性
- 2017.5.1 下血を主訴にA病院を受診。
- 2017.5.10 A病院で下部消化管内視鏡生検を施行。
〔管状腺癌、高分化型
粘膜下層浸潤（SM）、リンパ節転移なし、遠隔転移なし〕
- 2017.5.17 A病院で直腸癌と診断。
- 2017.5.18 治療はA病院で手術、B病院で化学療法を行う計画を立てる。
- 2017.5.30 A病院で手術
〔管状腺癌、高分化型、Tub1>Tub2
粘膜下層浸潤（SM）、リンパ節転移なし、遠隔転移なし〕
- 2017.8.30 A病院からの紹介状によりB病院（自施設）へ来院
当初の治療計画により化学療法を行う。

以上の情報より、B病院を自施設として届出票を作成してください。

全国がん登録届出マニュアル P 33,34,35,37,38,39 より抜粋

診断施設コード

1	自施設診断
2	他施設診断

治療施設コード

1	自施設で初回治療をせず、他施設に紹介又はその後の経過不明
2	自施設で初回治療を開始
3	他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
4	他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診
8	その他

診断根拠

1	原発巣の組織診
2	転移巣の組織診
3	細胞診
4	部位特異的腫瘍マーカー
5	臨床検査
6	臨床診断
9	不明

発見経緯

1	がん検診・健康診断・人間ドック
3	他疾患の経過観察中の偶然発見
4	剖検発見
8	その他
9	不明

進展度・治療前コード

400	上皮内
410	限局
420	所属リンパ節転移
430	隣接臓器浸潤
440	遠隔転移
777	該当せず
499	不明

進展度・術後病理学的コード

400	上皮内
410	限局
420	所属リンパ節転移
430	隣接臓器浸潤
440	遠隔転移
660	手術なし又は術前治療後
777	該当せず
499	不明